



地域医療支援病院
地方独立行政法人福岡市立病院機構
福岡市民病院 FUKUOKA CITY HOSPITAL

2020
AUTUMN

[季刊誌]

FCH

VOL.36

トピックス

心臓カテーテル造影装置を更新しました

NEWS

福岡市民病院の登録医ご紹介



心臓カテーテル造影装置 更新



心臓カテーテル造影装置を更新しました

循環器内科 小河 清寛

当院は2020年11月に心臓カテーテル造影装置を更新しました。

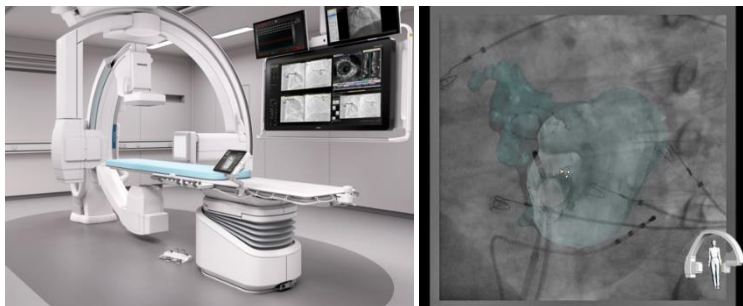
地域の医療機関等の皆様との連携により多くの患者さんの診療に携わる機会が年々増えており、また、多岐にわたるニーズにお応えするため、この度ハード面も更新することとなりましたのでお知らせいたします。

当科では虚血性心疾患・不整脈・心不全を中心にすべての循環器疾患に24時間365日対応可能で、急患対応も積極的に行なっています。外科的治療が必要な場合は、九州大学病院を始めアクセスが良好な近隣の心臓血管外科と連携して治療にあたっています。

我々循環器の専門医は一般的には治療が困難とされる症例も引き受け、専門的な技術を用いて治療効果を上げることが期待されています。手術成績を上げるだけでなく、当院のハートセンターを訪れるすべての患者さんの治療成績をあげ、QOLおよび予後の改善することが最も重要です。エビデンスに基づく医療を継続するため、メディカルスタッフとともにカンファレンスや振り返りなどを行いチーム医療を重視することで、さらなる医療の質の向上を目指し日々診療を行なっています。

心疾患はいずれも早期に対応することが重要です。例えば虚血性心疾患の場合は高血圧や糖尿病、脂質異常症、喫煙など、リスクを有する患者さんからいかに早期に疾患を発見し、治療を行うかが重要となります。無症状であっても検査を行うと重症の虚血性心疾患が見つかることもしばしばあり、当院では近医の先生方が少しでも疑いがあるようであればしっかりと検査を行うことを基本方針としています。冠動脈治療についてはステント治療に加え、病変によってはDCA(方向性冠動脈粥腫切除術)やロータブレード(高速回転式アテレクトミー)といった特殊なデバイスも使用しています。また、近年増加している不整脈診療には3DマッピングシステムCARTO3を採用しており、専門医が多岐にわたる診療にあたっています。特に、日常診療でよく見受けられる心房細動は長期的な予後を大きく左右する疾患として重要視されており、患者さんそれぞれに合わせた積極的な治療介入を行なっています。

さて、今回新規に取り入れた機器は、フィリップス社の最新の心臓カテーテル造影装置で、放射線被曝量をこれまでよりもさらに軽減し、さらなる高画質を得ることができます。また、ロードマップ機能なども搭載され、治療に役立てることができます。近年増加してい



院長よりメッセージ

新型コロナウイルスの流行の収束が十分に見通せない中、皆様におかれましては、それぞれのお立場でご苦労されていることと拝察いたし、心からお見舞い申し上げます。

世界的に新型コロナウイルスの爆発的流行に見舞われる中、当院は公的病院の使命として積極的にその責任を果たしているところであります。このことに関しては、地域の医師会の皆様、大学関係、行政機関など、多くの方々及び組織の皆様の多大なご指導とご支援をいただき、更に多くの幅広い団体、また個人の皆様からも有形無形の励ましを、そして地域にお住いの皆様の心温まるご理解とご支援を戴きました。このような心温まるご厚情があったればこそ、職員一同がここまで一丸となって頑張ってきたのだと有り難く思っております。この場を借りて、ここに深甚なる感謝の気持ちを表わさせていただきます。

そして、令和2(2020)年4月の「福岡市民病院病院長緊急メッセージ」のもとに、安全な感染対策環境を整えて業務にあたりました。

今回私どもが、この感染症に対する医療を責任もって全う出来ているのは、「感染症医療」を専門とする

る不整脈診療であるアブレーション治療においても、CT画像をモニター画面に統合させることでさらに確実、安全に治療することができ、手技時間の短縮も期待できます。『より多くの患者さんに、より安全に、より良い治療成績』を目指すべく、私たちは引き続き努力していきたいと思っております。

循環器疾患でお困りあるいはご相談の際には、いつでもご連絡ください。

NEWS

健康出張セミナー『出前講座』～看護部編～

看護部長 田邊 郁子

スキルアップコース
修了バッジ



当院では、医師・看護師・メディカルスタッフが健康講座である『出前講座』を開催しています。テーマは地域住民の方々のご要望に応じて決定しますが、病気の予防や早期発見・早期治療などの啓蒙活動にもつながっています。療養生活を支える介護・看護の分野にも対応し、最近では看護ケア関係のテーマを広く展開しています。

去る9月24日(金) 中央区小笹公民館で『お口のケアから感染防止』をテーマに出前講座を開催し、50～90代の17名の方にご参加頂きました。13時30分～15時の90分間、口腔ケアと病気の関係・安全な食事摂取について、嚥下のしくみ・高齢者と誤嚥の関係など、嚥下体操を交え実施しました。活発な質疑応答を通して、地域住民の方々の日常における疑問点・不明点などを知る機会となりました。今回はテーマに即して「感染管理」と「摂食嚥下」の認定看護師を派遣しました。当院には、10分野18名の認定看護師と1名の専門看護師が在籍します。地域住民の方々に向けては、高齢者のスキンケア、失禁・排泄ケアなど、『看護ケア講座』として幅広いテーマに対応いたします。また、当院で実施する新人および新任看護師研修会への、近隣の医療機関からの参加も積極的に受け入れています。医療者向けの出張講義も可能です。顔の見える連携を通して、地域の皆様とともに地域の大切な人材を人財へと育て、これらの活動を通して、私達自身の成長へ繋げたいと考えております。どうぞ、お気軽にご用命ください。



方々の並々ならぬご尽力はもとより、当院が従来公的病院として遂行してきた「高度専門医療」、「高度救急医療」の経験とチームワークという基盤があったからこそであるということを実感しております。

更に、今後は冬の到来を前に、この新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も大いに懸念されます。地域の医療関係の皆様、行政関係の方々との密な連携のもと、安心して医療を受けていただく環境整備にいち早く着手し、体制をととのえております。

英国元首相のWinston Churchill (1874-1965)の言葉の中にKites rise highest against the wind, not with it. (凧は追い風ではなく、向かい風の時に最も高く上がる。)という名言があります。ある意味で、逆風とも言うべきこの社会状況の中で、今後も職員一同、質の高い医療を通じて社会に貢献いたす所存ですので、何卒宜しく御願い申し上げます。

「福岡市民病院病院長緊急メッセージ」

新型コロナウイルス感染症に関して、わたしたちは、

1. 患者さん、そのご家族や関係者をまもります。
 2. すべての職員、そのご家族や関係者をまもります。
 3. 病院の組織と業務環境、そして医療をまもります。
- これらを実践するために、皆様おひとりおひとりの院内ルールの遵守とご協力を切にお願い申し上げます。

福岡市民病院 病院長

福岡市民病院の登録医ご紹介

医療法人 博多いせがわ内科循環器内科

【住所】812-0025 福岡市博多区店屋町8-24九勸呉服町ビル2階

【電話】092-291-6600

【登録医名】伊勢川 健吾 院長

【診療科】内科、循環器内科、糖尿病内科

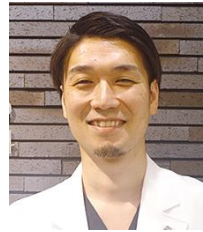
【診療時間】月・火・木・金 9:00~13:00、14:30~18:00

水・土 9:00~13:00

【休診日】日曜・祝日

【HPアドレス】<https://hakata-isegawa.com>

当院は「地下鉄呉服町駅1番出口すぐ」に位置し、お仕事やプライベートなど、ご用事の合間に来院しやすい環境です。くつろげる空間と安らぐ雰囲気の中で診察を受けていただけます。地域に根差した医療の志を絶やさぬよう、今後とも皆様方との出逢いとご縁を大切に、患者様に寄り添った丁寧な診療を心がけ、ご信頼頂けるよう精進していく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



医療法人 あおばクリニック

【住所】813-0025 福岡市東区青葉3-1-6

【電話】092-663-2037

【登録医名】伊藤 大樹 院長、伊藤 新一郎 副院長

【診療科】総合内科、循環器内科、老年内科、アレルギー科、小児科、在宅医療、緩和ケア、健診、各種予防接種、禁煙外来

【受付時間】月~金 8:30~12:00、13:45~17:30

土 8:30~12:00

【休診日】日曜・祝日

【HPアドレス】<https://f-aobaclinic.jp>

当院の特徴は、「ファミリークリニックとして赤ちゃんからご高齢の方まで全年齢層の患者様に対応していること」、「各専門病院や地域の看護・介護・生活支援サービスと密な連携を行なっていること」、「当院かかりつけの全ての患者様に24時間365日電話・往診対応をしていること」などです。当院はこれまで福岡市東区の在宅医療をリードし、特に伊藤新一郎医師が中心となって立ち上げた福岡東在宅ケアネットワークは高い評価を受けています。これからも在宅医療体制を益々充実させ、加えて外来診療や地域との連携を強化していきます。病気のみでなく、子育てや介護でお困りの際もご相談ください。



編集・発行



地方独立行政法人 福岡市立病院機構 福岡市民病院

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-1

TEL:092-632-1111 FAX:092-632-0900

<http://www.fcho.jp/shiminhp/>

■受付時間:平日8:30~11:00

■休診日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始

急患は、救急外来で24時間対応します。

■診療科:内科、消化器内科、肝臓内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経内科、循環器内科、感染症内科、外科、消化器外科、肝臓外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、眼科、放射線科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科

